

令和4年10月吉日

九州大学大学院比較社会文化研究院

松永 典子

**【科研】マレーシア東方政策40周年記念特別セミナー
Look East Policy：過去、現在、将来の展望**

拝啓 秋麗の候、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。標記のセミナーにつきまして、青年海外協力隊、マレーシア、国際学生（留学生）、国際交流に日頃よりご縁の深いみなさまにご参加いただきたく、ご案内申し上げます。マレーシア東方政策40周年の節目となる年、元留学生のお話から東方政策をふりかえり、今後の国際交流を展望する機会といたしたく存じます。お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

敬具

.....

日時：2022年10月27日（木）18:30-21:00

（講演の部：18:30-20:00 交流会：20:10-21:10） 交流会費：一般3,500円（当日徴集）

場所：九州大学医学部百年講堂・中ホール1（福岡市東区馬出3丁目1番1号）

<https://www.med.kyushu-u.ac.jp/100ko-do/access/>

- ▶ 趣旨：マレーシアで1982年に始まった東方政策（Look East Policy）により、日本人の労働倫理や勤労意欲、道徳などを日本から実地に学ぶことで、マレーシアの経済・社会発展が目指され、2万6,000人を超えるマレーシア人留学生や研修生が日本に来日しました。そして、大学、企業、JICA等での留学や研修における学びや体験を糧にマレーシアの発展を支えるとともに、マレーシアと日本の交流を牽引する人財として活躍しています。本セミナーでは、東方政策の申し子とも言えるJICA職員、大学教員のおふたりに、日本留学の経験が自身にとってどのような意味をもつのかについて語ってまいります。本年8月、東方政策の主導者・マハティール元首相にインタビューを敢行したおふたりの個人史をもとに、東方政策40年を振り返るとともに、Look East Policyの今後の展望についてもお話をうかがいます。

講演：「日本留学と私：広島・南方特別留学生、お好み焼き」

ヌルハイザム・アザム・ビン・アリフ氏（Nurhaizal Azam bin Arif）

広島市立大学国際学部・准教授

プロフィール：マラヤ大学東方政策日本留学特別コース、富山大卒。2017年から広島市立大学に赴任。専門は国際ビジネス、経営学、商学。国際ビジネス及びダイバーシティの視点からハラール・ヴィーガンという新たな食のスタンダードの展開や戦争の惨禍の中で生まれたお好み焼きの歴史についても研究。広島赴任をきっかけに広島で被爆した南方特別留学生に関する史実を記録として後世に残し、マスコミやSNSを通じてマレーシアの人々にも伝える活動に精力的に取り組む。

講演：「東方政策と私:日本との出会い」

ムハマド・ハフィズ・ビン・オスマン氏 (Muhammad Hafiz bin Othman)

国際協力機構 (JICA) マレーシア事務所 シニア・プログラム・マネージャー

プロフィール： マレーカレッジ・クアラカンサー、マラヤ大学東方政策日本留学特別コース、筑波大卒。東京三菱銀行に勤務後、マレーシアに帰国し、マハティール首相時代の東方政策室（日本デスク担当）、国際交流基金クアラランプール事務所勤務を経て現職。箏（生田流）、お茶（裏千家）など日本の伝統文化をたしなむ。天皇皇后両陛下及び皇太子殿下とのエピソードを綴ったテレビ番組（TBS 皇室アルバム・日テレ皇室日記・フジテレビ皇室ご一家など）も多数。平成 30 年外務大臣表彰受賞。

▶ 使用言語：日本語

▶ 会次第

18:30～18:40 趣旨説明・講演者紹介

18:40～19:10 アザム氏講演

19:10～19:40 ハフィズ氏講演

19:40～20:00 質疑応答

20:00～20:10 休憩・交流会設営

20:10～21:10 交流会

21:10 閉会

▶ 参加申込期日：10月24日（月）17:00

「所属」「役職」「名前」「連絡先」を下記メール宛、送付してください。

E-mail：kyuissa@gmail.com

申込み・問い合わせ先：九州国際学生支援協会 副会長・事務局

松永典子（九州大学大学院比較社会文化研究院）

主催：「マレーシア東方政策 40 周年記念特別セミナー」実行委員会：【主管】松永典子研究室（九州大学）、JICA 九州センター、福岡県青年海外協力協会、福岡県青年海外協力隊を支援する会、福岡マレーシア友好協会、（一社）地域企業連合会九州連携機構、九州国際学生支援協会

【科研課題番号：22K00668・研究課題名：歴史学習・遠隔協働学習を通じた平和共存のための日本語教育研究・研究代表者：松永典子】

【科研】マレーシア東方政策40周年記念セミナー

Look East Policy: 過去、現在、将来の展望

- ▶ 趣旨：マレーシアで1982年に始まった東方政策（Look East Policy）により、日本人の労働倫理や勤労意欲、道徳などを日本から実地に学ぶことで、マレーシアの経済・社会発展が目指され、2万6,000人を超えるマレーシア人留学生や研修生が日本に留学しました。そして、マレーシアの発展を支えるとともに、マレーシアと日本の交流を牽引する人財として活躍しています。本セミナーでは、東方政策の申し子とも言えるJICA職員、大学教員のおふたりに、日本留学の経験が自身にとってどのような意味をもつのかについて語ってまいります。本年8月、東方政策の主導者・マハティール元首相にインタビューを取行したおふたりの個人史をもとに、東方政策40年を振り返るとともに、Look East Policyの今後の展望についてもお話をうかがいます。

日時：2022年10月27日（木）18:30－21:00

（講演の部：18:30－20:00 交流会：20:10－21:00）

場所：九州大学医学部百年講堂・中ホール1（福岡市東区馬出3-1-1）

▶ 講演「日本留学と私：南方特別留学生、お好み焼き」



ヌルハイザム・アザム・ビン・アリフ氏
(Nurhaizal Azam bin Arif)
広島市立大学国際学部・准教授

▶ 講演「東方政策と私：日本との出会い」

ムハマド・ハフィズ・ビン・オスマン
(Muhammad Hafiz bin Othman)
国際協力機構(JICA)マレーシア事務所
シニア・プログラム・マネージャー



- ▶ 「マレーシア東方政策40周年記念特別セミナー」実行委員会：【主管】松永典子 研究室（九州大学）、JICA九州センター、福岡県青年海外協力協会、福岡県青年海外協力隊を支援する会、福岡マレーシア友好協会、（一社）地域企業連合会九州連携機構、九州国際学生支援協会

- ▶ 【科研課題番号：22K00668・研究課題名：歴史学習・遠隔協働学習を通じた平和共存のための日本語教育研究・研究代表者：松永典子】

問い合わせ先：九州大学大学院比較社会文化研究院 松永典子 (kyuissa@gmail.com)